

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3213030号
(U3213030)

(45) 発行日 平成29年10月12日 (2017.10.12)

(24) 登録日 平成29年9月20日 (2017.9.20)

(51) Int.Cl.

F 1

A 2 3 L 15/00 (2016.01)

A 2 3 L 15/00

Z

A 4 7 J 43/28 (2006.01)

A 4 7 J 43/28

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 実願2017-3577 (U2017-3577)

(22) 出願日 平成29年8月3日 (2017.8.3)

(73) 実用新案権者 517273559

石垣 豊

沖縄県中頭郡北谷町吉原 6 2 7 - 1

(74) 代理人 100137338

弁理士 辻田 朋子

(72) 考案者 石垣 豊

沖縄県中頭郡北谷町吉原 6 2 7 - 1

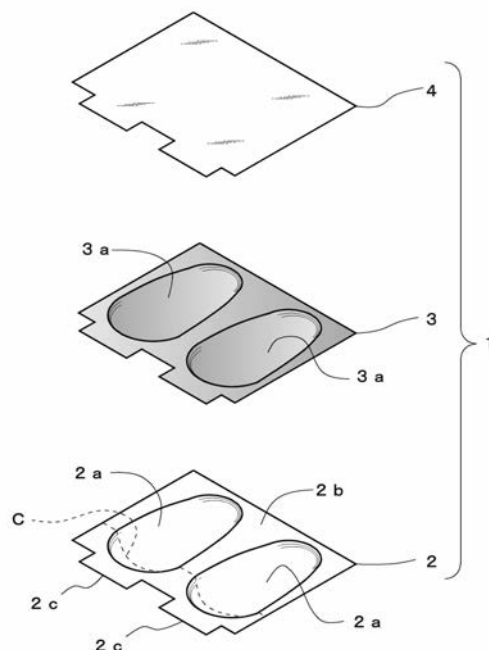
(54) 【考案の名称】 ゆで卵用殻むきシート

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 ゆで卵への装着が容易で、かつ、このゆで卵からの剥離が容易なゆで卵用殻むきシートを提供する。

【解決手段】 薄肉シートからなり、殻つきゆで卵の表面を包み込む基材 2 と、この基材 2 の殻つきゆで卵が接触させられる面に積層された粘着層 3 と、この粘着層 3 を覆って設けられた着脱可能な剥離紙 4 とによって構成され、基材 2 に、殻つきゆで卵の少なくとも一部が嵌合させられる凹部 2 a が形成され、基材 2 の凹部 2 a が形成されていない残余の部位が、殻つきゆで卵の表面を覆う被覆部 2 b となされている。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

薄肉シートからなり、殻つきゆで卵の表面を包み込む基材と、この基材の前記殻つきゆで卵が接触させられる面に積層された粘着層と、この粘着層を覆って設けられた着脱可能な剥離紙とによって構成され、前記基材に、殻つきゆで卵の少なくとも一部が嵌合させられる凹部が形成され、前記基材の前記凹部が形成されていない残余の部位が、前記殻つきゆで卵の表面を覆う被覆部となされていることを特徴とするゆで卵用殻むきシート。

【請求項 2】

前記凹部が、前記ゆで卵の側面がその周方向に所定幅の領域において嵌合させられる深さに形成され、この凹部が前記基材の面方向の一側縁部側に偏倚して設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のゆで卵用殻むきシート。

10

【請求項 3】

前記凹部が、前記基材の面方向に所定間隔おいた 2 カ所に略線対称に設けられ、それぞれの凹部が、前記ゆで卵の側面がその周方向約半周に互って嵌合させられる深さに形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のゆで卵用殻むきシート。

【請求項 4】

前記基材の一側縁部にその面方向に延びる延設部が形成され、この延設部に、前記凹部が設けられ、かつ、この凹部が、前記ゆで卵の上端部若しくは下端部が嵌合させられる深さに形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のゆで卵用殻むきシート。

【請求項 5】

前記基材には、この基材を前記粘着層とともに切り離す切り取り線が形成されていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 の何れかに記載のゆで卵用殻むきシート。

20

【請求項 6】

前記基材の側縁部には、前記粘着層が設けられていない把持部が形成されていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 5 の何れかに記載のゆで卵用殻むきシート。

【請求項 7】

前記基材が、アルミ箔によって形成されていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 6 の何れかに記載のゆで卵用殻むきシート。

【請求項 8】

前記基材に、この基材によって前記殻つきゆで卵を包み込んだ状態において、前記殻つきゆで卵の外郭より突出する余剰部が形成されていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 7 の何れかに記載のゆで卵用殻むきシート。

30

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、ゆで卵の殻を粘着性シートによって包み込み、前記ゆで卵に前記粘着シートの表面から打撃を加えて前記ゆで卵の殻を砕き、ついで、前記粘着性シートを剥離することにより、この粘着性シートの粘着力によって前記砕かれた殻をゆで卵から剥離するようにしたゆで卵用殻むきシートに関する。

40

【背景技術】**【0002】**

従来、ゆで卵の殻をむく技術として、たとえば、特許文献 1 に示される技術が提案されている。

【0003】

この技術は、長尺な粘着性テープをゆで卵の表面に巻き付けることにより、このゆで卵を殻ごと包み込んで、前記殻を前記粘着性テープに粘着させた後に、前記粘着性テープを外側から衝撃を加えて前記ゆで卵の殻を砕き、ついで、前記粘着性テープを剥離させることにより、この粘着性テープとともに前記殻をゆで卵から剥離させるようにしている。

50

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】実用新案登録第3201884号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

前述した従来の技術によって、前記粘着性テープを剥がすことによりゆで卵の殻をむくことができ、また、むかれた殻を前記粘着性シートによって保持することにより、前記殻の飛散を防止することができるようになった。

10

【0006】

しかしながら、前述した従来の技術においても、なお、つぎのような改善すべき問題点が残されている。

【0007】

すなわち、前記粘着性テープをゆで卵に巻き付ける際に、巻き付けの初期において、前記粘着性テープの先端をゆで卵の側面に押しつけた状態で、この粘着性テープをゆで卵の周りに何周も巻き付けなければならない、その作業が繁雑であるといった問題点である。

【0008】

また、ゆで卵の表面が3次元的に湾曲していることから、このゆで卵の表面に前記粘着性テープを均一に巻き付けることができず、先に巻き付けた粘着性テープに重なるようにして後の粘着性テープを巻き付けなければならないことから、この粘着性テープの無駄が多い。

20

【0009】

特に、ゆで卵の両端部付近では、前記粘着性テープを、側面における向きとほぼ直交するように巻き付ける必要があり、この点からも、前記粘着性テープの巻き付けが面倒である。

【0010】

また、前記粘着性テープを剥離する際に、この粘着性テープの重なり合った部分を剥がす必要があることから、この粘着性テープ同士の粘着力が加わって、殻むき作業を面倒なものとしている。

30

【0011】

本考案は、前述した従来の技術において残されている問題点を解決せんとしてなされたもので、ゆで卵への装着が容易で、かつ、このゆで卵からの剥離が容易なゆで卵用殻むきシートを提供することを解決すべき課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0012】

本考案のゆで卵用殻むきシートは、前述した課題を解決するために、薄肉シートからなり、殻つきゆで卵の表面を包み込む基材と、この基材の前記殻つきゆで卵が接触させられる面に積層された粘着層と、この粘着層を覆って設けられた着脱可能な剥離紙とによって構成され、前記基材に、殻つきゆで卵の少なくとも一部が嵌合させられる凹部が形成され、前記基材の前記凹部が形成されていない残余の部位が、前記殻つきゆで卵の表面を覆う被覆部となされていることを特徴としている。

40

【0013】

本考案のゆで卵用殻むきシートは、前述した構成とすることにより、前記剥離紙を剥離して前記粘着層を露出させ、殻つきのゆで卵を、その側面の一部を前記凹部に嵌合させて前記基材に仮止めする。

【0014】

ついで、前記被覆部を、前記ゆで卵の露出した部位を覆うように重ね合わせた後に、前記基材全体を前記ゆで卵の表面になじませるように変形させる。

たとえば、ゆで卵を両手で包み込むようにして前記基材をゆで卵の表面に押しつける。

50

【0015】

ここで、前記基材が薄肉シートによって形成されていることにより、この基材が皺を形成しつつ変形させられる。

この基材の皺の部分は余剰部分であり、この皺が形成された部位において、前記基材どうしが前記粘着層を介して相互に粘着させられる。

この結果、前記基材が、ゆで卵の殻の表面に万遍なく粘着させられる。

【0016】

このように、本考案のゆで卵用殻むきシートは、殻つきゆで卵を、前記基材の凹部に嵌合して前記基材に仮止めし、この状態で、前記殻つきゆで卵の残余の表面に被覆部を被せ、ついで、前記基材全体を、殻つきゆで卵の表面に押しつける操作によって装着される。

10

【0017】

したがって、前記基材で殻つきゆで卵を包み込む際に、殻つきゆで卵と前記基材との位置ずれを抑制した状態で操作を行なうことができ、かつ、前記基材全体を、殻つきゆで卵の表面に押しつけることによって装着することができるので、その操作が極めて簡便である。

【0018】

そして、殻つきゆで卵の殻をむくには、まず、前述したように前記基材によって包み込まれた殻つきゆで卵に、前記基材表面から衝撃を与えることにより、殻つきゆで卵の殻を砕く。

このようにして砕かれた殻は、前記基材に、この基材に積層されている粘着層の粘着力によって保持される。

20

【0019】

ついで、前記基材を殻つきゆで卵から剥離すると、この基材に前記粘着層を介して粘着させられている前記砕かれた殻が、前記基材とともに殻つきゆで卵から剥離されて、ゆで卵の殻むきが行なわれる。

【0020】

そして、このような殻つきゆで卵の殻むき操作に際して、この基材に形成されている皺の部分を剥離させる必要がなく、殻をゆで卵から剥離させる力のみで済み、したがって、前述した殻むき操作を容易なものとすることができる。

【0021】

そして、前記凹部は、前記殻つきゆで卵の側面がその周方向に所定幅の領域において嵌合させられる深さに形成し、また、前記基材の面方向の一侧縁部側に偏倚して設けておくことができる。

30

【0022】

また、前記凹部は、前記基材の面方向に所定間隔おいた2カ所に略線対称に設け、それぞれの凹部を、前記殻つきゆで卵の側面がその周方向約半周に互って嵌合させられる深さに形成しておくこともできる。

【0023】

このような構成とすることにより、前記一对の凹部で殻つきゆで卵のほぼ全周を覆うことができるので、前記基材を殻つきゆで卵の表面に押しつける際に生じる、前記基材の皺を少なくすることができる。

40

【0024】

また、前記基材の一侧縁部にその面方向に延びる延設部を形成して、この延設部以外の部位を被覆部としておき、この延設部に前記凹部を設け、かつ、この凹部を、殻つきゆで卵の上端部若しくは下端部が嵌合させられる深さに形成しておくこともできる。

【0025】

このような構成とすることにより、前記延設部の前記凹部に殻つきゆで卵の上端部若しくは下端部を嵌合させてこの殻つきゆで卵を立てた状態で仮止めし、ついで、前記被覆部により、殻つきゆで卵の露出している表面を覆うようにして包み込むことにより、ゆで卵用殻むきシートを殻つきゆで卵の表面に万遍なく粘着させることができる。

50

【 0 0 2 6 】

そして、前記基材に、この基材を前記粘着層とともに切り離す切り取り線を形成しておくこともできる。

【 0 0 2 7 】

このような構成とすることにより、前述した殻つきゆで卵の全周に粘着させられている前記基材を剥離する際に、この基材を前記切り取り線に沿って容易に切り離すことができ、前述した前記基材の剥離を容易に行なうことができる。

【 0 0 2 8 】

また、前記基材の側縁部に、前記粘着層が設けられていない把持部を形成しておくことにより、前記基材の剥離時に、この基材の縁部を容易に把持することができ、この基材の剥離を容易にすることができる。

10

【 0 0 2 9 】

そして、前記基材として、アルミ箔が好適に用いられる。

アルミ箔を用いることにより、その変形容易な特性を利用して、前記基材の殻つきゆで卵表面への密着性を高め、また、この基材の剥離時における基材自体を容易に切り裂くことができ、これによって、前記基材の剥離を容易にする。

【 0 0 3 0 】

さらに、前記基材に、この基材によって前記殻つきゆで卵を包み込んだ状態において、前記殻つきゆで卵の外郭より突出する余剰部を形成しておくこともできる。

【 0 0 3 1 】

20

このような構成とすることにより、前記基材の剥離時において、前記余剰部を一方の手によって把持した状態で、他方の手によって前記基材を剥離することができる。

これによって、前記基材の剥離操作を円滑に行なうことができる。

【 考案の効果 】

【 0 0 3 2 】

本考案のゆで卵用殻むきシートによれば、殻つきゆで卵をシートの所定位置に仮止めした状態で、シートを殻つきゆで卵の表面に押しつけるという簡便な操作でシートを殻つきゆで卵の表面に均一に密着させることができ、殻つきゆで卵の殻むきを容易に行なうことができる。

【 図面の簡単な説明 】

30

【 0 0 3 3 】

【 図 1 】 本考案の一実施形態を示す分解斜視図である。

【 図 2 】 本考案の一実施形態を示すもので、基材の平面図である。

【 図 3 】 本考案の一実施形態を示すもので、基材の表面に粘着層を積そうした状態の平面図である。

【 図 4 】 本考案の一実施形態を示す平面図である。

【 図 5 】 本考案の一実施形態を示すもので、使用手順を示す斜視図である。

【 図 6 】 本考案の一実施形態を示すもので、使用手順を示す斜視図である。

【 図 7 】 本考案の一実施形態を示すもので、使用手順を示す正面図である。

【 図 8 】 本考案の一実施形態を示すもので、使用手順を示す正面図である。

40

【 図 9 】 本考案の一実施形態を示すもので、使用手順を示す正面図である。

【 図 1 0 】 本考案の一実施形態を示すもので、使用手順を示す正面図である。

【 図 1 1 】 本考案の一実施形態を示すもので、使用手順を示す正面図である。

【 図 1 2 】 本考案の一実施形態を示すもので、使用手順を示す正面図である。

【 図 1 3 】 本考案の他の実施形態を示す基材の斜視図である。

【 図 1 4 】 本考案の他の実施形態の使用手順を示す斜視図である。

【 図 1 5 】 本考案のさらに他の実施形態を示す基材の斜視図である。

【 図 1 6 】 本考案のさらに他の実施形態の使用手順を示す斜視図である。

【 考案を実施するための形態 】

【 0 0 3 4 】

50

以下、本考案の一実施形態を図 1 ないし図 1 2 を参照して説明する。

図 1 において符号 1 は、本実施形態に係わるゆで卵用殻むきシート（以降、殻むきシートと略称する）を示す。

【0035】

この殻むきシート 1 は、薄肉シートからなり、殻つきゆで卵 E の表面を包み込む基材 2 と、この基材 2 の前記殻つきゆで卵 E が接触させられる面に積層された粘着層 3 と、この粘着層 3 を覆って設けられた着脱可能な剥離紙 4 とによって構成され、前記基材 2 に、殻つきゆで卵 E の少なくとも一部が嵌合させられる凹部 2 a が形成され、前記基材 2 の前記凹部 2 a が形成されていない残余の部位が、前記殻つきゆで卵 E の表面を覆う被覆部 2 b となされている。

10

【0036】

前記基材 2 は、本実施形態においてはアルミ箔、樹脂シート、あるいは、紙等の薄肉シートが用いられ、プレス加工等によって所定形状に形成されているとともに、前記凹部 2 a が形成されている。

【0037】

前記凹部 2 a は、前記基材 2 の面方向（本実施形態では幅方向）に所定間隔おいた 2 カ所に略線対称に設けられ、それぞれの凹部 2 a が、殻つきゆで卵 E の側面がその周方向約半周に互って嵌合させられる深さに形成されている。

【0038】

そして、前記基材 2 には、この基材 2 を、前記粘着層 3 とともに所定位置から切り離すミシン目等の切り取り線 C が形成されている。

20

【0039】

この切り取り線 C は、図 1 および図 2 に示すように、前記基材 2 の幅方向全長に互って形成されており、かつ、前記各凹部 2 a を横切るように形成されている。

【0040】

一方、前記基材 2 の、図 1 ないし図 4 に示すように、幅方向と直交する縁部には、この縁部から突出する余剰部 2 c が形成されている

【0041】

前記粘着層 3 は、前記基材 2 の、前記凹部 2 a が形成されている面側に粘着剤を積層することによって形成され、図 1 に示すように、前記基材 2 に形成されている前記各凹部 2 a と同様の凹部 3 a が形成される。

30

【0042】

また、前記粘着層 3 は、図 4 に示すように、前記基材 2 の幅方向の一側縁部を所定幅を持って露出させるように、前記基材 2 よりも幅狭に形成されており、この基材 2 の露出させられた部分が把持部 2 d となされている。

【0043】

さらに、前記剥離紙 4 は、樹脂フィルム等によって、前記基材 2 と同様の平面形状に形成されている。

【0044】

本実施形態の殻むきシート 1 は、前記基材 2 に前記粘着層 3 を積層し、さらに、この粘着層 3 を覆って前記剥離紙 4 を装着することによって、図 3 に示すように組み付けられる。

40

【0045】

そして、使用にあたっては、図 5 に示すように、前記剥離紙 4 を、前記基材 2 の前記粘着層 3 が形成されていない前記把持部 2 d において、前記基材 2 から引き起こし、同図に矢印で示すように、前記剥離紙 4 を前記基材 2 から取り除くことにより、前記粘着層 3 を全体的に露出させる。

【0046】

ついで、図 6 に示すように、露出させられた前記粘着層 3 に形成されている一対の凹部 3 a の一つに、図 6 に示すように、殻つきゆで卵 E を嵌め込み、この殻つきゆで卵 E の約

50

半周を前記粘着層 3 および前記基材 2 によって覆う。

【0047】

ついで、図 6 に矢印で示すように、前記基材 2 および前記粘着層 3 を、前記粘着層 3 に形成されている他の凹部 3 a 内に前記殻つきゆで卵 E の露出部分を入れ込むように折り曲げる。

【0048】

この操作により、前記基材 2 によって、前記殻つきゆで卵 E を全周に互って包み込む。

【0049】

これより、前記基材 2 を前記殻つきゆで卵 E の表面に押しつけることにより、この基材 2 に積層されている粘着層 3 を前記殻つきゆで卵 E の表面に粘着させる。

10

【0050】

ここで、前記基材 2 が薄肉シート（アルミ箔）によって形成されていることにより、この基材 2 を前述した殻つきゆで卵 E の表面に押しつける際に、この基材 2 が容易に変形し、前記粘着層 3 が前記殻つきゆで卵 E の表面に万遍なく粘着させられる。

【0051】

また、前記基材 2 に設けられている一对の余剰部 2 d 同士を貼り合わせて一体化しておく。

【0052】

このように、前記殻むきシート 1 によって前記殻つきゆで卵 E を包み込んだ状態において、前記基材 2 の前記把持部 2 d には前記粘着層 3 が形成されていないことから、図 7 に示すように、この把持部 2 d が前記基材 2 の他の部分から浮いた状態となされる。

20

【0053】

これより、前記殻むきシート 1 の表面に全体的に衝撃を加えることにより、前記殻つきゆで卵 E の殻を砕く。

【0054】

ついで、図 7 に示すように、前記貼り合わせた前記余剰部 2 d を一方の手で摘まんで、前記殻むきシート 1 によって覆われた殻つきゆで卵 E を保持するとともに、他方の手で、前記把持部 2 d をつまんで、前記基材 2 を、同図に矢印で示すように、前記殻つきゆで卵 E から剥離する。

【0055】

30

このような操作により、前記基材 2 が、前記切り取り線 C に沿って切り取られるとともに、前記殻つきゆで卵 E から剥離される。

【0056】

このように前記基材 2 を殻つきゆで卵 E から剥離すると、この殻つきゆで卵 E の砕かれた殻が前記基材 2 に前記粘着層 3 を介して粘着させられていることから、図 8 に示すように、剥離される前記基材 2 とともに砕かれた殻 Z がゆで卵 A から剥がされる。

【0057】

これによって、図 9 に示すように、前記切り取り線 C よりも上部の砕かれた殻 Z が前記基材 2 とともに取り除かれる。

【0058】

40

ついで、図 9 に矢印で示すように、前記切り取り線 C よりも下方にある前記基材 2 をしばませるように押圧することにより、前記ゆで卵 A を押し出す。

この操作に際して、前記切り取り線 C より下方にある砕かれた殻 Z が前記ゆで卵 A から剥離されて、殻つきゆで卵 E の殻むきが行なわれる。

【0059】

このように本実施形態の殻むきシート 1 によれば、この殻むきシート 1 を、その凹部 2 a によって殻つきゆで卵 E を仮止めした状態で、この殻つきゆで卵 E の表面に粘着させることができる。

【0060】

そして、前記殻むきシート 1 の前記基材 2 を引き裂いて除去することにより、砕かれた

50

殻 Z を前記基材 2 とともに剥離させることができる。

【 0 0 6 1 】

したがって、前記殻むきシート 1 の装着やその除去操作を簡便に行なうことができ、殻つきゆで卵 E の殻むきも容易に行なうことができる。

【 0 0 6 2 】

図 1 1 に示すように、切り取り線 C よりも上方の殻を剥がした状態において、殻むきされたゆで卵 A を食した後に、図 1 2 に示すように、残されたゆで卵 A を押し出して食すこともできる。

【 0 0 6 3 】

なお、前記実施形態において示した各部の諸形状や寸法等は一例であって、種々変更可能である。

【 0 0 6 4 】

たとえば、図 1 3 に示すように、前記凹部 2 a を、前記殻つきゆで卵 E の側面がその周方向に所定幅の領域において嵌合させられる深さに形成し、この凹部 2 a を前記基材の面方向の一側縁部側に偏倚して設け、この凹部 2 a が形成された部位以外の部位を被覆部 2 b とすることもできる。

【 0 0 6 5 】

この場合、図 1 4 に示すように、前記凹部 2 a に殻つきゆで卵 E を嵌め込んで仮止めした状態とし、この仮止めされた殻つきゆで卵 E の露出部分に、前記基材 2 の被覆部 2 b を被せることにより、前記殻つきゆで卵 E を全体的に包み込む。

【 0 0 6 6 】

また、図 1 5 に示すように、前記基材 2 の一側縁部にその面方向に延びる延設部 2 e を形成し、この延設部 2 e に凹部 2 f を設け、かつ、この凹部 2 f が、前記殻つきゆで卵 E の上端部若しくは下端部が嵌合させられる深さに形成し、前記基材 2 の、前記延設部 2 e 以外の部位を前記被覆部 2 b とすることもできる。

【 0 0 6 7 】

この場合、図 1 6 に示すように、前記延設部 2 e の凹部 2 f に前記殻つきゆで卵 E の端部を挿入することにより、この殻つきゆで卵 E を立てた状態に仮止めしておき、前記被覆部 2 b を矢印で示すように上方へ立ち上げて、この被覆部 2 b を前記殻つきゆで卵 E の側面に巻き付ける。

【 符号の説明 】

【 0 0 6 8 】

- 1 (ゆで卵用) 殻むきシート
- 2 基材
- 2 a 凹部
- 2 b 被覆部
- 2 c 余剰部
- 2 d 把持部
- 2 e 延設部
- 2 f 凹部
- 3 粘着層
- 3 a 凹部
- 4 剥離紙
- A ゆで卵
- C 切り取り線
- E 殻つきゆで卵
- Z 殻

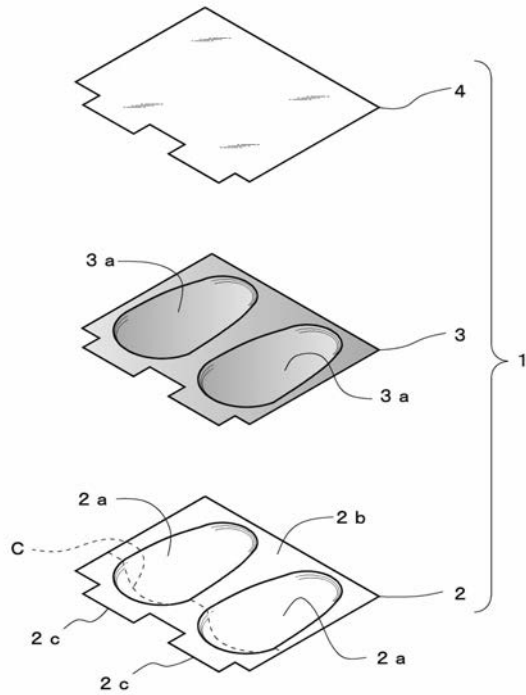
10

20

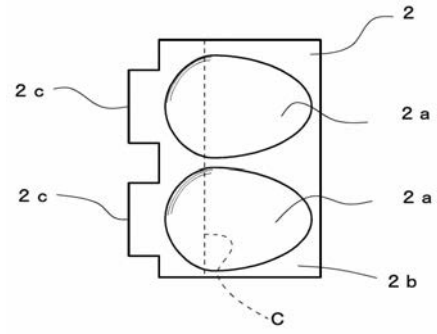
30

40

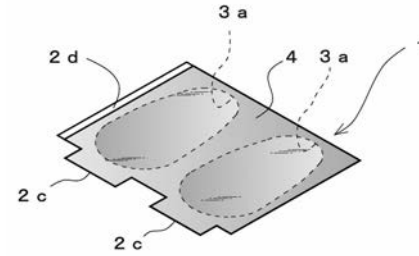
【図 1】



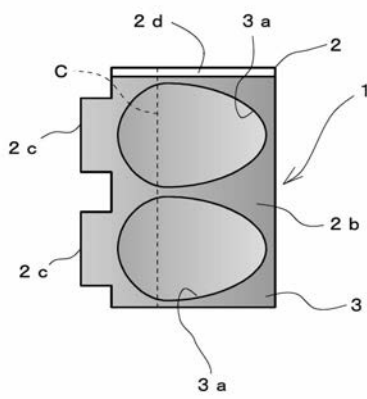
【図 2】



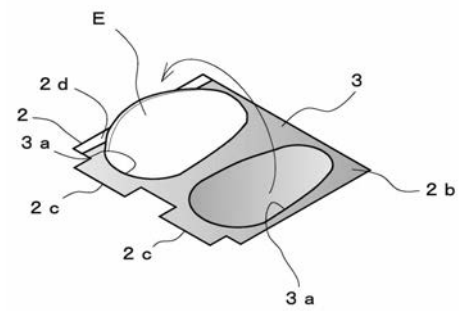
【図 3】



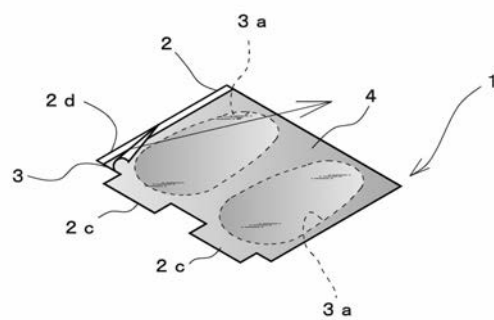
【図 4】



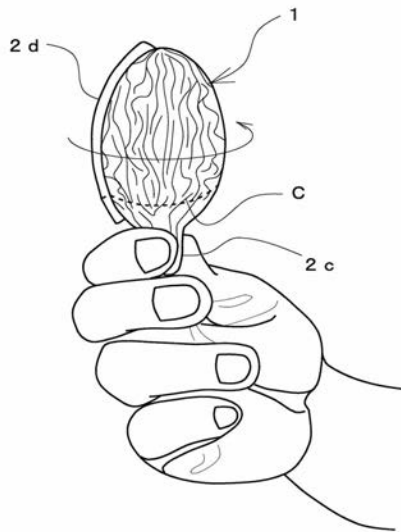
【図 6】



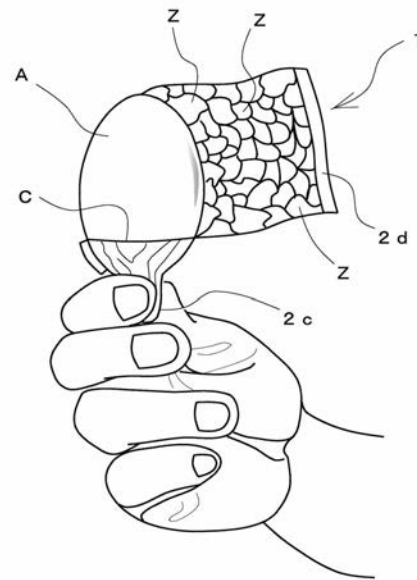
【図 5】



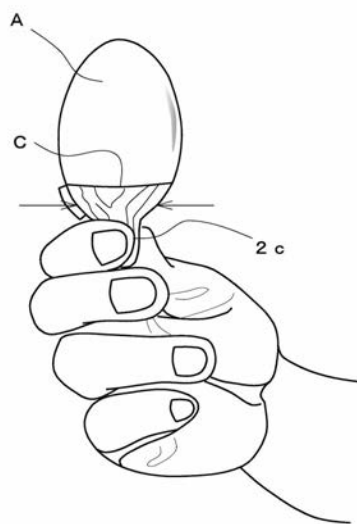
【図 7】



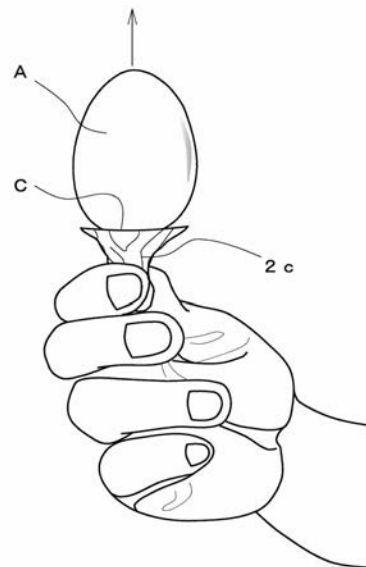
【図 8】



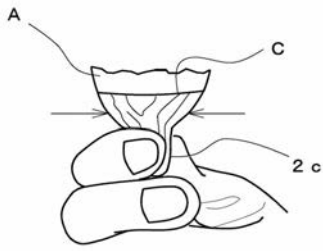
【図 9】



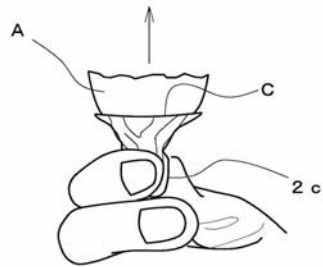
【図 10】



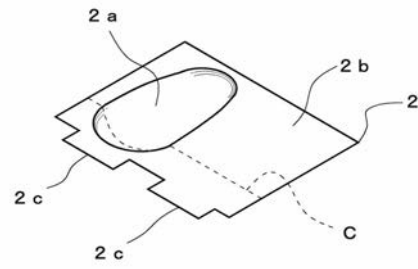
【図 1 1】



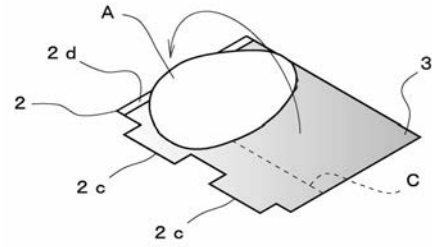
【図 1 2】



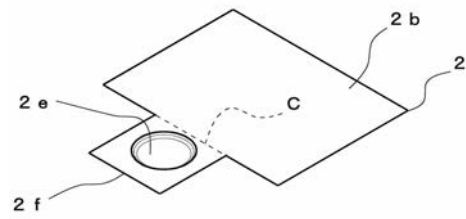
【図 1 3】



【図 1 4】



【図 1 5】



【図 1 6】

